

海住山寺(木津川市)

かいじゅうせんじ

ここが海住山寺



正面は本堂/明治時代の再建



その左手が五重塔/五重塔としては、室生寺の五重塔に次いで小さいらしい



これが海住山寺初重裳階付五重塔/国宝/鎌倉時代(1214年)建立/和様



二層部にのみ中央間に中備えの間斗束を置く



中央間板唐戸、脇間連子窓、組物は二手先、軒は二軒繁垂木



法隆寺五重塔のように裳階がある/高欄のない広い縁をめぐらし簡素な舟肘木の乗る柱が立つ



芯柱が二層から立てられているという(初重を仏堂のように使うようになったためらしい)/鎌倉時代からの特徴でこの塔が最古という



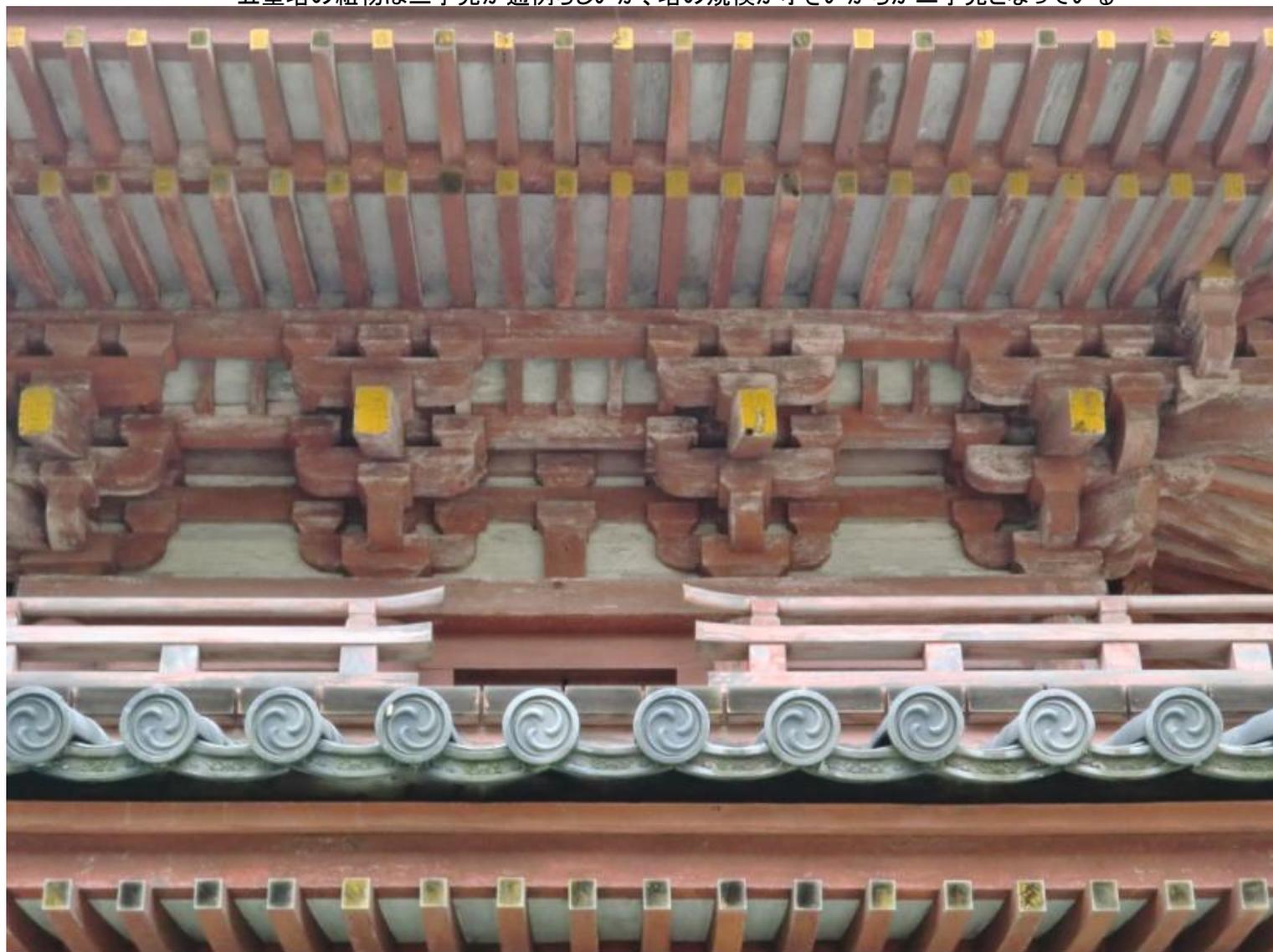
吹き放ち、木瓦型銅板葺の裳階/裳階部の組物は簡素な舟肘木







五重塔の組物は三手先が通例らしいが、塔の規模が小さいからか二手先となっている



相輪は金色に輝く



さて、本堂



本堂の扁額



隅木を支える支柱が立っている



こんな感じ



これは本堂から見た文殊堂



文殊堂/重要文化財/鎌倉時代(1312年)建立/銅板葺き(建立時は檜皮葺)/正面の中央間は板唐戸で、その両脇間は連子窓がはめられている/組物は平三斗



参考ホームページ

<http://www.kaijyusenji.jp/temple/index.html>

<http://small-life.com/archives/11/07/1019.php>

<http://www9.plala.or.jp/kinomuku/kaijyu/kaijyu.html#map>

<http://www.kankodori.net/japanseculture/treasure/073/index.html>

<http://www.geocities.jp/kawai5510/kyou-kaijyuusenji.htm>

<http://www.uraken.net/rail/travel-urabe237.html>

<http://www010.upp.so-net.ne.jp/teiryu/Ky26.html>

